

2025年1月8日

株主各位

第10期定時株主総会事前質問へのご回答

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第10期定時株主総会開催に先立ち、株主総会のライブ中継のウェブサイトにていただきました主なご質問について、下記のとおり回答申し上げます。

記

質問 1	商品価格の上昇について
回答	できる限りお客様にご満足いただける価格にて、提供させていただき、かつ株主の皆様にも利益を還元させていただけるよう商品調達や商品開発面において、引き続き努力して参ります。一方で、今後の原材料費及び人件費高騰の影響次第では、一部商品価格や提供方法を見直しさせていただく可能性があります。
質問 2	お客様の満足度を上げる具体的な戦略について
回答	あきんどスシローにおいては、お客様の店舗内体験価値向上を目指し、本年9月末までにデジタルスシロービジョン、通称デジローを全国19店舗に導入しました。お客様には大変ご好評をいただいております。今後も導入店舗を増やす予定です。 また、価格を固定しない白皿を導入し、税込み100円～110円で商品提供することで大変ご好評いただきました。 ファミリー層向けに、お子様向け商品のプチローセットや、お子様向け設備・サービスを拡充することもスシローの取り組みも実施いたしました。
質問 3	国内及び海外における出店の見通しについて
回答	国内スシロー事業においては、都市部を中心に特に力をいれて出店していき、郊外においては好立地があれば出店していきたいと考えております。また、回転寿司みさきや寿司居酒屋事業の杉玉においても積極的に展開していく予定です。 海外事業においては、スシロー事業を中心に今期は2024年9月期を上回る60～70店舗の出店を目指してまいります。

質問 4	回転レーンの改善・改良について
回答	あきんどスシローでは2024年9月末現在で、合計198店舗に、各テーブルに直接おすしをお届けするオートウェイターを導入しております。今期は、新たに81店舗に導入予定となっており、これによりお客様により便利にお食事いただけるものと考えております。

質問 5	杉玉ブランドの拡大プランについて
回答	杉玉全店舗におけるフランチャイズ店舗の割合につきましては、20%弱で、国内は直営とフランチャイズで年間18店舗から20店舗の出店を目標としており、今期中には100店舗達成予定となっております。店舗のサービスレベルを維持しつつ、着実に拡大していくことが事業の継続的な発展に寄与するものと考えております。

質問 6	過去テーブルに常備していた爪楊枝について
回答	現在、あきんどスシローの店舗の各テーブルには爪楊枝を設置させていただいておりません。いただきましたご意見は、貴重なご意見として承り今後の店舗運営に役立てて参ります。

質問 7	寿司以外の他の業種について
回答	当社グループといたしましては、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、特にグローバルでは、「寿司と言えどスシロー」という認知獲得を目指しスシロー事業の拡大を中心に継続していきます。ただ、他の業種についても検討していないわけではなく、グループの調達力と親和性のある新たな業態へのチャレンジも引き続き行っていきたいと考えております。

以上